

あ と が き

和歌山県教育センター学びの丘が位置する紀南の地にも、やわらかな春光が差し込み、新たな季節の訪れを感じる頃となりました。私たち研修員は、これまでの教職経験を振り返りながら、令和7年度和歌山県の教育の要点が示す「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」などの重点取組を踏まえ、こどもに対する伴走的な支援の視点を大切にしつつ学びを進めてまいりました。また、研修観も、知識を受け取るだけではなく、自ら問いを立て、仲間と学び合いながら実践を創り出せるよう転換することを目指し、主体的に学ぶ姿勢を育む1年となりました。今年度は、児童の運動有能感を高める跳び箱運動における「動感」形成、そして個々の探究的な学びを主とした社会科の授業構想について研究を深めました。これらの研究を通して、児童生徒が主体的に学びへ向かう姿をいかに引き出し、その学びをどのように支え、広げていくかという視点を改めて意識することができました。

この1年間、学びの丘の多様な研修講座に参加し、校種や教科の枠を越えて学ぶ中で、研修観の転換を意識し、ICTを取り入れた学習環境づくりに関する研修や特別支援の視点を取り入れた講座等、実践的な学びを得ることができました。また、研修員同士が互いの経験や立場を尊重し合い、協働して学び合うことの価値を実感し、教員としても人としても成長できた1年となりました。社会の変化が加速する中、教育に求められる役割は多様化しています。VUCAの時代にあっても、「学び続ける教員」として、探究的な学びの充実やICT活用、児童生徒のウェルビーイングの向上等、新たな時代の要請に応じた教育の創造に努めていきたいと考えています。学びの丘で得た多くの学びと出会いへの感謝を胸に、本県教育の更なる発展に寄与できるよう、今後も実践を積み重ねてまいります。

ここに、1年間の研究成果を「令和7年度研修員研究集録（第51集）」として取りまとめました。御高覧の上、御指導・御助言を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、私たちが温かく支えてくださった教育センター学びの丘の所員の皆様、関係諸機関並びに所属校、協力校の職員の方々に、心より厚くお礼申し上げます。

令和8年3月

令和7年度研修員一同

令和7年度研修員研究集録（第51集）

令和8年3月発行

編集発行人 和歌山県教育センター学びの丘
所長 福田 孝

発行所 和歌山県教育センター学びの丘
和歌山県田辺市新庄町 3353-9

電話 (0739)26-3511 (代表)

FAX (0739)26-8120

URL <https://www.manabi.wakayama-c.ed.jp/>